



高知若草養護学校 相談支援室

若草わかば便り

H31/3/8

No3

高知市春野町弘岡下 2980-1、TEL088-894-5335、FAX088-894-2965

春の便りが待ち遠しい頃となりました。今年度も本校の地域支援にご理解いただき、また「若草わかば便り」に目を通していただきありがとうございました。今回は1年間のまとめとして、地域の保育園や学校等への支援の回数、就学前教室「わかば教室」についてご報告させていただきます。

地域支援の回数 等

2月末まで見込み

校外での支援	★保育園支援（通年・夏休み） 保育所・園にお邪魔させていただき、活動を共にしながら支援について先生方と一緒に考えました。継続して訪問させていただいた園もたくさんありました。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">64回（学校理学療法士9回同行）</div>		
	☆特別支援学級等サポート事業等 県内の肢体不自由のある児童生徒が在籍する特別支援学級に伺いました。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">13校 33回（学校理学療法士5回同行）</div>	☆教育相談員派遣事業 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">98回</div>	☆巡回相談員派遣事業 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">36回</div>
校内での支援	★来校相談・電話相談 主に学校や保育・幼稚園の先生方から日々の指導や支援の方法等の相談が主としてありました。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">43件</div>		★学校見学 授業の様子や施設設備等を見学していただき本校の教育について知っていただきました。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">24家庭（自治体主催の見学含む）</div>
	★就学前教室「わかば教室」 就学前のお子さんが保護者と一緒に来校して遊び等の活動行いました。（裏面をご覧ください） <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">延べ20名</div>		
情報提供	☆特別支援連携協議会（土長南国・高岡圏域） 本校の取組等について関係機関の方々に情報提供をしました。	★市町村教育委員会等関係機関への訪問 特別支援学校の中部地域拠点校の業務等について管内の教育委員会を訪問し説明しました。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">22機関</div>	
研修機会の提供	★公開講座 「子ども達を褒めて伸ばす強化の原理～グループワークを中心に～」言語聴覚士の森下先生をお招きし、子どもを具体的にほめることの大切さや行動に着目した支援について丁寧に教えていただきました。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">校外からの参加者 19名</div>		★研修会講師 保育所や学校等の研修に講師として参加しました。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">11回</div>

★本校独自の事業 ☆県教委の事業

◎今年も肢体不自由のある方の支援だけでなく発達障害等があるお子さんや支援をされる方々にも多く関わらせていただきました。それぞれの地域でお子さんを大切に育てている方々の日々の支援や工夫等から学ばせていただくことがたくさんありました。本当にありがとうございました。

わかば教室



今年度も、肢体に不自由のある就学前のお子さんの教室「わかば教室」を開催しました。今年度は教室を 9 回実施し、延べ20名のお子さんと保護者の方等に参加していただきました。本校教員、学校理学療法士と一緒に日ごろご家庭ではなかなかできない大きな動きを取り入れた遊び(ハンモックやわかくさスパイダー)を中心に組み込みました。お子さんは日常とは少し違う活動や姿勢を経験し、気づきを表現したり、表情が変わったり…。また、その様子を見て保護者の方には他のご家族に見せようと写真を撮られたりする姿も見られ、毎回微笑ましい雰囲気の中で活動ができました。

今年度の活動へのご理解ご協力に感謝いたします。来年度も年間を通じて開催する予定です。継続して利用してくださる方との活動とともに新たな出会いも楽しみにしています。

ハンモックでゆ～らゆら♪大きく揺れたり小さく揺れたりしました。

合理的配慮を考える

障害のある方が一般的な教育制度から排除されることなく、自己の生活する地域において教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供されること等が必要とされています。

例えば、「書くこと」に苦手さがあるお子さんにとってノートテイクは「書く」ことに精一杯になり内容の理解につながりにくいことがあります。地域の学校や本校で、要点のみ記入すればよいプリントが準備されていたり、黒板の写真を撮ってデータとして残していたりする取組がありました。「学習の理解」のための手段は 1 つではないことを共有し、学ぶための合理的配慮がなされています。そのほかにもさまざまな配慮が、地域の多くの学校や本校でなされていました。

イラストは、“何を目的に”という視点をもって環境を整えることや配慮をすることでどのお子さんも同じ条件で学習に向かうことができること、取り組むことの大切さを伝えてくれています。「当たり前のこと」としてそれぞれの学び方を尊重した配慮が増えてきています。

合理的配慮を考える 発達障害の子どもたちの障壁を視覚化したら

配慮 何もない状態…

平等 ではあるけど左の子はまだ見えない…

公正 さが担保されて全員が試合を観られる！

発達障害のある小中高生向け放課後等デイサービス TEENS HPより許可を得て引用しています

お読みいただきありがとうございました。来年度もインクルーシブ教育システム、合理的配慮についての理解啓発や地域と協働する本校の取組を知っていただくために、若草わかば便りを発行する予定です。よろしくお願いいたします。

特別支援教育コーディネーター：吉村、中部地域支援担当：佐藤